



Attorney Docket No. 1614.1348

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Naohito TAKAE (deceased) by his representative, Yumiko TAKAE (heiress), et al.

Application No.: 10/647,650

Group Art Unit: 2643

Filed: August 26, 2003

Examiner:

For: A CONTENT PROVIDING METHOD, A REGISTRATION METHOD OF A USER MENU INFORMATION DATABASE, A CONTENT PROVIDING PROGRAM, A CONTENT REQUESTING PROGRAM, A USER REGISTRATION PROGRAM, AND A CHARGE INVOICING PROGRAM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN APPLICATION IN
ACCORDANCE WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Commissioner for Patents
PO Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicants submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No(s). 2001-55736
Filed: February 28, 2001

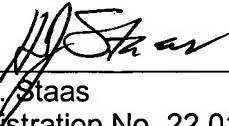
It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing dates as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: Dec. 12, 2003

By:


H. J. Staas
Registration No. 22,010

1201 New York Ave, N.W., Suite 700
Washington, D.C. 20005
Telephone: (202) 434-1500
Facsimile: (202) 434-1501



PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy
of the following application as filed with this office.

Date of Application: February 28, 2001

Application Number: No. 2001-055736
[ST.10/C]: [JP 2001-055736]

Applicant(s): FUJITSU LIMITED

August 25, 2003

Commissioner,
Patent Office Yasuo Imai (Seal)

Certificate No. 2003-3069485

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2001年 2月28日
Date of Application:

出願番号 特願2001-055736
Application Number:

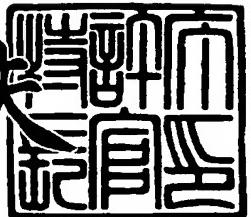
[ST. 10/C] : [JP2001-055736]

出願人 富士通株式会社
Applicant(s):

2003年 8月25日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願
【整理番号】 0052560
【提出日】 平成13年 2月28日
【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿
【国際特許分類】 H04B 7/26
H04L 12/00
【発明の名称】 コンテンツ提供方法、コンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法、コンテンツ提供プログラム、コンテンツ要求プログラム、コンテンツ利用者登録プログラム及び料金請求プログラム
【請求項の数】 10
【発明者】
【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内
【氏名】 高江 直人
【発明者】
【住所又は居所】 北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番5号
株式会社富士通北海道システムエンジニアリング内
【氏名】 谷 弘幸
【発明者】
【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内
【氏名】 大宮 洋行
【特許出願人】
【識別番号】 000005223
【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100070150

【住所又は居所】 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデン
プレイスタワー32階

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【電話番号】 03-5424-2511

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002989

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704678

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ提供方法、コンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法、コンテンツ提供プログラム、コンテンツ要求プログラム、コンテンツ利用者登録プログラム及び料金請求プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツ事業者におけるコンテンツ提供方法において、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の端末から送信された信号中に、前記コンテンツ利用者が利用を要求するコンテンツについて通信事業者のコンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されたことを示すメニュー登録識別子が含まれている場合に、前記コンテンツ利用者の端末に情報を提供することを特徴とするコンテンツ提供方法。

【請求項 2】 コンテンツ事業者におけるコンテンツ提供方法において、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の端末から送信された信号中に、前記コンテンツ利用者が利用を要求するコンテンツについてコンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されたことを示すメニュー登録識別子が含まれていない場合は、

通信事業者に対して、前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼することを特徴とするコンテンツ提供方法。

【請求項 3】 通信事業者におけるコンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法において、

コンテンツ利用者の端末からコンテンツを要求する信号を受信したコンテンツ事業者から、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼されたとき、

前記コンテンツ利用者に対する登録依頼処理を行って、前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録後、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子にメニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信することを特徴とするコンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法。

【請求項4】 請求項3記載のコンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法において、

前記コンテンツ利用者が前記利用者メニュー情報データベースに登録されていれば、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子に前記メニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信することを特徴とするコンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法。

【請求項5】 コンテンツ利用者の端末から送信された前記コンテンツを要求する信号を受信する受信ステップと、

通信事業者に設けられたデータベースであって、各コンテンツ毎に、コンテンツの利用者が登録されているコンテンツ利用者メニュー情報データベースに、前記コンテンツ利用者が登録されていることを示す、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれているか否かを判断するメニュー識別子判断ステップと、

前記メニュー識別子判断手段による判断の結果、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれている場合に、コンテンツ利用者にコンテンツを提供するコンテンツ提供ステップと

をコンピュータに動作させることを特徴とするコンテンツ提供プログラム。

【請求項6】 請求項5記載のコンテンツ提供プログラムにおいて、

前記メニュー識別子判断手段による判断の結果、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれていない場合に、前記通信事業者に対して、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼する依頼ステップを更に有することを特徴とするコンテンツ提供プログラム。

【請求項7】 コンテンツ利用者が、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに基づいてコンテンツ利用者メニューに表示されたコンテンツのリストを選択することにより、コンテンツにアクセスした場合、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号中に、前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されていることを示すメニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業

者に送信する送信ステップをコンピュータに動作させることを特徴とする通信事業者におけるコンテンツ要求プログラム。

【請求項 8】 コンテンツ利用者の端末からコンテンツを要求する信号を受信したコンテンツ事業者から、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼されたとき、前記コンテンツ利用者に対する登録依頼処理を行う登録依頼処理ステップと、

前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録する登録ステップと、

前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子にメニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信するステップをコンピュータに動作させることを特徴とする通信事業者におけるコンテンツ利用者登録プログラム。

【請求項 9】 請求項 8 記載の通信事業者におけるコンテンツ利用者登録プログラムにおいて、

前記コンテンツ利用者が、既に、前記利用者メニュー情報データベースに登録されている場合、

前記コンテンツ利用者に対する登録依頼処理を行わずに、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子に前記メニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信するステップを有することを特徴とするコンテンツ利用者登録プログラム。

【請求項 10】 通信及びコンテンツの利用に関するログを収集するアクセスログ情報データベースを有する通信事業者における料金請求プログラムにおいて、

請求項 8 又は 9 記載のコンテンツ利用者登録プログラムを用いてコンテンツ利用者が登録された前記コンテンツ利用者メニュー情報データベース及び前記アクセスログ情報データベースを用いて、前記コンテンツ利用者に対して、通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求を合算して請求するステップを更に有することを特徴とする料金請求プログラム。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、コンテンツ提供方法、コンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法、コンテンツ提供プログラム、コンテンツ要求プログラム、コンテンツ利用者登録プログラム及び料金請求プログラムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

現代のネットワーク社会の発展及び普及に伴い、パーソナルコンピュータ等で利用していたインターネットコンテンツをiモード（登録商標）に代表されるように携帯電話機で利用できる仕組みが一般的になっている。

【0003】

インターネットコンテンツには、無料で自由に利用できるものと、利用するには情報料の支払が必要なものとがある。後者の場合における情報料の支払の方法として、利用者がクレジットカードや銀行振込などを行って情報提供者に直接払い込む方法と、通信事業者が利用者の携帯電話利用料とを合算して徴収し、情報提供者に支払を代行する方法とがある。

【0004】

情報提供者に支払を代行する方法は、図1に示すように、次の五つのステップで行われる。

(1) 通信事業者が、支払代行を希望する情報提供者に対して、支払代行事業者の対象として適当であるか否かを審査する。支払代行を希望する情報提供者は、まず、その審査にパスする(S11)。

(2) 審査をパスした情報提供者は、提供するコンテンツを通信事業者のコンテンツ事業者メニュー情報データベースに登録する(S13)。

(3) 支払代行を希望するコンテンツ利用者は、コンテンツ事業者メニュー情報データベースに登録されたコンテンツから、利用を希望するコンテンツを選択して登録する。利用者が登録したコンテンツは、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録される(S15)。

【0005】

なお、コンテンツ利用者メニュー情報データベースへの登録は、例えば、有料サイトの契約、プッシュ型サイトの登録、利用頻度の高いサイトの登録によりなされる。

(4) その後、コンテンツ利用者は、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されたコンテンツをリスト表示する。リスト表示されたコンテンツには、当該コンテンツにリンクが張られているので、コンテンツを選択すれば、そのコンテンツにアクセスすることができる（S17）。

(5) 通信事業者は、利用者の携帯電話使用料と有料コンテンツの情報料を合算して徴収し、情報提供者に支払を代行する（S19）。

【0006】

図2を用いて、従来のコンテンツの利用を説明する。図2は、利用者の携帯電話機11、アクセスポイント13、通信事業者21、インターネット網17及びコンテンツ事業者19から構成されている。

【0007】

アクセスポイント13は、通信サービスを利用する際に、利用者の携帯電話機11がネットワークに接続するための接続点である。通信事業者21は、自身の通信ネットワークにおいて、インターネット網17と接続するためのゲートウェイ／利用認証／メニューサーバ23を有する。利用者の携帯電話機11は、アクセスポイント13及びゲートウェイ／利用認証／メニューサーバ23を介して、インターネット及びインターネット上のコンテンツ事業者19に接続される。

【0008】

ゲートウェイ／利用認証／メニューサーバ23は、インターネットに対する専門交換機能を有し、利用者情報データベース（図示せず）を参照して利用者認証を行い、コンテンツ事業者メニュー情報データベース23、コンテンツ利用者データベース27及びアクセスログ情報データベース29を用いて、利用者によるコンテンツの利用を可能とし、コンテンツ利用者による通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求等を行う。

【0009】

コンテンツ事業者19は、通信事業者21を介して、利用者の携帯電話機11にコンテンツの提供を行う。コンテンツ事業者19からコンテンツ事業者メニューの登録依頼を行うことにより、通信事業者19のコンテンツ事業者メニュー情報データベース25に登録される。コンテンツが、コンテンツ事業者メニュー情報データベース25に登録されると、利用者の携帯電話機の「メニュー画面」における「メニューリスト」において、特定のカテゴリの一つの登録コンテンツとして表示される。

【0010】

つまり、登録されたコンテンツは、「ニュース／天気／情報」、「モバイルバンキング」、「カード／証券／保険」等に分類されて、それぞれのカテゴリ別に各コンテンツが分類され、リスト表示される。

【0011】

利用者の携帯電話機11は、携帯電話機の「初期画面」から、適宜画面を選択して、「メニュー画面」を得る。次いで、「メニュー画面」における「メニューリスト」を選択し、更に、希望するカテゴリを選択する。すると、通信事業者のコンテンツ事業者メニュー情報データベース25に登録されたコンテンツ（コンテンツ事業者）が、カテゴリ別に、リスト表示される。利用者は、その中から、利用を希望するコンテンツ（コンテンツ事業者）を選択してアクセスし、コンテンツ事業者の提供する「登録画面」で利用登録を行うとコンテンツ利用者メニュー情報データベース27に登録され、そのコンテンツを利用することができます。なお、「メニューリスト」に搭載された有料コンテンツは、登録しなければ、そのコンテンツを利用することができない。

【0012】

コンテンツ利用者メニュー情報データベース27に登録されたコンテンツは、利用者の携帯電話機の「メニュー画面」に、上記「メニューリスト」と共に、表示される「マイメニュー」として表示される。

【0013】

従って、利用者は、コンテンツ利用者メニュー情報データベース27に登録されたコンテンツについては、「メニューリスト」からコンテンツを選択すること

なく、「マイメニュー」から、直接、選択することができる。

【0014】

アクセスログ情報データベース29には、利用者毎に、アクセスのログが全て記憶されている。通信事業者21は、アクセスログ情報データベース29のデータに基づいて、コンテンツ利用者に対して、通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求を合算して行う。

【0015】

なお、通信事業者は、支払を代行するサービスとして、利用者から情報提供料を徴収できなかった場合は、情報提供者に情報料の支払を行わない取り決めを行い、支払代行業務のリスクを回避している。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】

このように、支払を代行サービスにより、利用者にとって支払が一本化され、また、クレジットカードを利用する場合に比較して、種々の不安やトラブルを回避できるという利点がある。しかし、支払を代行するサービスを利用できる対象となる有料コンテンツは、通信事業者のコンテンツ事業者メニュー情報データベースに登録されたものに限定されるため、登録されていない有料コンテンツの情報料の支払は、利用者と情報提供者間で直接行う必要がある。

しかしながら、コンテンツ事業者メニューに登録されるメニューは、携帯電話機の表示装置で表示されることを前提としているため、登録数が制限されている。このため、支払代行するコンテンツが制限されているという問題がある。

【0017】

また、支払代行を希望する利用者は、コンテンツ事業者メニュー情報データベースに登録されたコンテンツから、利用を希望するコンテンツを選択して、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録する。しかしながら、コンテンツ利用に際して、登録後であっても登録画面が表示され、登録していないのではないかと思い登録しようとすると、そのとき、「二重登録」であると警告される。

【0018】

このように、従来のものは、登録後であっても、登録画面が表示され、利用者

が無駄な操作を行う可能性があると言う問題がある。

【0019】

本発明は、上記問題に鑑みなされたものであり、支払代行サービスが利用できるコンテンツの制限を無くし、コンテンツ利用者における無駄な操作を無くすことを目的とするものである。

【0020】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本件発明は、以下の特徴を有する課題を解決するための手段を採用している。

【0021】

請求項1に記載された発明は、コンテンツ事業者（例えば、図3におけるコンテンツ事業者19）におけるコンテンツ提供方法において、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の端末（例えば、図3における携帯電話機11）から送信された信号中に、前記コンテンツ利用者が利用を要求するコンテンツについて通信事業者のコンテンツ利用者メニュー情報データベース（例えば、図3におけるコンテンツ利用者メニュー情報データベース35）に登録されたことを示すメニュー登録識別子が含まれている場合に、前記コンテンツ利用者の端末に情報を提供することを特徴とする。

【0022】

請求項1記載の発明によれば、コンテンツ事業者は、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されたことを示すメニュー登録識別子が含まれている場合に、前記コンテンツ利用者の端末に情報を提供することにより、支払代行サービスが利用できるコンテンツの制限を無くし、コンテンツ利用者における無駄な操作を無くすことができる。

【0023】

請求項2に記載された発明は、コンテンツ事業者におけるコンテンツ提供方法において、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の端末から送信された信号中に、前記コンテンツ利用者が利用を要求するコンテンツについてコンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録され

たことを示すメニュー登録識別子が含まれていない場合は、通信事業者（例えば、図3における通信事業者31）に対して、前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼することを特徴とする。

【0024】

請求項2記載の発明によれば、コンテンツ事業者は、コンテンツ利用者の端末から送信された信号中に、コンテンツ利用者が利用を要求するコンテンツについてコンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されたことを示すメニュー登録識別子が含まれていない場合に登録処理を行うことにより、登録後であっても、登録画面が表示され、利用者が無駄な操作を行うことがなくなる。

【0025】

請求項3に記載された発明は、通信事業者におけるコンテンツ利用者メニュー情報データベースの登録方法において、コンテンツ利用者の端末からコンテンツを要求する信号を受信したコンテンツ事業者から、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼されたとき、

前記コンテンツ利用者に対する登録依頼処理を行って、前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録後、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子にメニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信することを特徴とする。

【0026】

請求項3記載の発明によれば、通信事業者は、コンテンツ利用者が前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに未登録の場合に登録処理を行うように依頼されたとき、コンテンツ利用者が前記利用者メニュー情報データベースに登録されているかを検査し、登録されていなければ登録依頼処理を行って、コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録後、メニュー登録識別子を付加して、コンテンツ事業者に送信することにより、登録後であっても、登録画面が表示され、利用者が無駄な操作を行うことがなくなる。

【0027】

請求項4に記載された発明は、請求項3記載のコンテンツ利用者メニュー情報

データベースの登録方法において、前記コンテンツ利用者が前記利用者メニュー情報データベースに登録されていれば、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子に前記メニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信することを特徴とする。

【0028】

請求項4記載の発明によれば、コンテンツ利用者が前記利用者メニュー情報データベースに登録されていれば、コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子に前記メニュー登録識別子を付加して、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号としてコンテンツ事業者に送信することにより、支払代行サービスが利用できるコンテンツの制限を無くし、コンテンツ利用者における無駄な操作を無くすことができる。

【0029】

請求項5に記載された発明は、コンテンツ利用者の端末から送信された前記コンテンツを要求する信号を受信する受信ステップと、通信事業者に設けられたデータベースであって、各コンテンツ毎に、コンテンツの利用者が登録されているコンテンツ利用者メニュー情報データベースに、前記コンテンツ利用者が登録されていることを示す、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれているか否かを判断するメニュー識別子判断ステップと、前記メニュー識別子判断手段による判断の結果、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれている場合に、コンテンツ利用者にコンテンツを提供するコンテンツ提供ステップとをコンピュータに動作させることを特徴とするコンテンツ提供プログラムである。

【0030】

請求項6に記載された発明は、請求項5記載のコンテンツ提供プログラムにおいて、前記メニュー識別子判断手段による判断の結果、メニュー登録識別子が前記コンテンツを要求する信号中に含まれていない場合に、前記通信事業者に対して、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼する依頼ステップを更に有することを特徴とする。

【0031】

請求項5、6に記載された発明は、請求項1、2に記載されたコンテンツ事業者におけるコンテンツ提供方法に適したコンテンツ提供プログラムを規定したものである。

【0032】

請求項7に記載された発明は、コンテンツ利用者が、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに基づいてコンテンツ利用者メニューに表示されたコンテンツのリストを選択することにより、コンテンツにアクセスした場合、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号中に、前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録されていることを示すメニュー登録識別子を附加して、前記コンテンツ事業者に送信する送信ステップをコンピュータに動作させることを特徴とする通信事業者におけるコンテンツ要求プログラムである。

【0033】

請求項7に記載された発明は、通信事業者におけるコンテンツ要求プログラムを規定したものである。

【0034】

請求項8に記載された発明は、コンテンツ利用者の端末からコンテンツを要求する信号を受信したコンテンツ事業者から、前記コンテンツ利用者を前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録するように依頼されたとき、前記コンテンツ利用者に対する登録依頼処理を行う登録依頼処理ステップと、前記コンテンツ利用者を利用者メニュー情報データベースに登録する登録ステップと、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子にメニュー登録識別子を附加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信するステップをコンピュータに動作させることを特徴とする通信事業者におけるコンテンツ利用者登録プログラムである。

【0035】

請求項9に記載された発明は、請求項8記載の通信事業者におけるコンテンツ利用者登録プログラムにおいて、前記コンテンツ利用者が、既に、前記利用者メニュー情報データベースに登録されている場合、前記コンテンツ利用者に対する

登録依頼処理を行わずに、前記コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子に前記メニュー登録識別子を付加して、前記コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号として前記コンテンツ事業者に送信するステップを有することを特徴とする。

【0036】

請求項8又は9に記載された発明は、請求項3、4に記載された通信事業者におけるコンテンツ利用者メニュー情報データベース登録方法に適したコンテンツ利用者登録プログラムを規定したものである。

【0037】

請求項10に記載された発明は、通信及びコンテンツの利用に関するログを収集するアクセスログ情報データベースを有する通信事業者における料金請求プログラムにおいて、請求項8又は9記載のコンテンツ利用者登録プログラムを用いてコンテンツ利用者が登録された前記コンテンツ利用者メニュー情報データベース及び前記アクセスログ情報データベースを用いて、前記コンテンツ利用者に対して、通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求を合算して請求するステップを更に有することを特徴とする通信事業者における料金請求プログラムである。

【0038】

請求項10に記載された発明は、通信事業者における料金請求プログラムを規定したものである。

【0039】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面と共に説明する。

【0040】

図3は、本発明におけるコンテンツ利用方法を説明するための図である。図3は、利用者の携帯電話機11、アクセスポイント13、通信事業者31、インターネット網17及びコンテンツ事業者19から構成されている。

【0041】

図3における利用者の携帯電話機11、アクセスポイント13、インターネッ

ト網17及びコンテンツ事業者19は、図2における利用者の携帯電話機11、アクセスポイント13、インターネット網17及びコンテンツ事業者19と同じである。

【0042】

通信事業者31は、通信ネットワークにおいて、インターネット網17と接続するための利用認証／メニューサーバ33を有する。利用認証／メニューサーバ33は、利用者情報データベース（図示せず）を参照して利用者認証を行い、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35及びアクセスログ情報データベース37を用いて、利用者の携帯電話機11によるコンテンツの利用を可能とし、利用者の携帯電話機11による通信及びコンテンツの利用に対する料金を合算して請求を行う。

【0043】

本実施の形態では、利用認証／メニューサーバ33は、図2の場合と異なり、コンテンツ事業者メニュー情報データベースを用いていないが、通信事業者31は、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35及びアクセスログ情報データベース37を用いて、通信及びコンテンツの利用に対する料金を合算して請求を行うことが可能である。従って、図2に示すような、コンテンツ事業者メニュー情報データベースに登録されていないコンテンツであっても、利用者の携帯電話機11による通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求を、合算して行うことができる。

【0044】

本発明における、コンテンツの提供の概要を、図3を用いて説明する。

(1) 利用者は、コンテンツ事業者19にアクセスする。アクセスの方法は、次の方法の何れでもよい(S1)。

【0045】

① 「メニュー画面」の「メニューリスト」を選択し、更に、希望するカテゴリーを選択し、表示されたコンテンツリストから利用するコンテンツを選択してアクセスする方法。

【0046】

②「メニュー画面」の「マイメニュー」を選択し、更に、表示されたコンテンツリストから利用するコンテンツを選択してアクセスする方法。

【0047】

③直接コンテンツ事業者のURL (Uniform Resource Locator) を入力して、アクセスする方法。

(2) 次ぎに、コンテンツ事業者19は、利用者の携帯電話機11のアクセス方法に基づいて、次の二つの、処理を行う。

【0048】

①コンテンツ事業者19は、上記「(1) ②」の場合であれば、既に、利用者の携帯電話機11は、そのコンテンツについて、利用者メニュー情報データベース27に登録されていることになるので、直ちに、コンテンツを提供する(S2)。

【0049】

②上記「(1) ①、③」の場合であれば、利用者の携帯電話機11は、そのコンテンツについて、利用者メニュー情報データベース27に登録されているか否か不明であるので、通信事業者31に、その利用者が利用者メニュー情報データベース27に登録されているか否かの調査を依頼し、もし、登録されていなければ、登録処理を行うように依頼する(S3)。

(3) 通信事業者31は、コンテンツ事業者19からの依頼を受けて、その利用者が利用者メニュー情報データベース27に登録されているか否かを検査する。

【0050】

①もし、登録されていなければ、利用者の携帯電話機11へ登録依頼を行う(S4)。

【0051】

②利用者の携帯電話機11が登録作業を行った場合、コンテンツ利用者用情報データベース35に登録する。

【0052】

なお、登録されていれば、(4)に飛ぶ。

(4) その後、通信事業者31は、利用者メニュー情報データベース27に登録

された旨の情報を附加して、コンテンツ事業者19に報告する（S6）。

（5）コンテンツ事業者19は、利用者の携帯電話機11が、そのコンテンツについて、利用者メニュー情報データベース27に登録されたので、利用要求されたコンテンツを提供する（S2）。

（6）その後、通信事業者は、アクセスログ情報データベース33を参照して、利用者の携帯電話使用料とそのコンテンツの情報料を合算して徴収し、情報提供者に支払を代行する。

【0053】

次ぎに、図4を用いて、本発明の実施例を説明する。なお、図4は、コンテンツの利用者、利用者の携帯電話機、通信事業者のサーバ及びコンテンツ事業者（コンテンツを含む）間の処理フローを示す。

（コンテンツ事業者へのアクセス）

利用者は、コンテンツ事業者19にアクセスする。アクセスの方法は、次の方法の何れでもよい。

（1）利用者は、携帯電話機11のブラウザを起動して、直接、コンテンツ事業者19のURLを入力する（ST1）。すると、携帯電話機11が、コンテンツ事業者19に接続される。このとき、携帯電話機11から、コンテンツ事業者19に、携帯電話機11の利用者識別情報（サブスクライバID）が通知される。

（2）利用者は、携帯電話機11のブラウザを起動し、「メニュー画面」から「コンテンツ利用者メニュー」（「マイメニュー」）を選択する（ST90）。これにより、携帯電話機11が、通信事業者31に接続される。このとき、携帯電話機11から、通信事業者31のサーバに、携帯電話機11の利用者識別情報が通知される。通信事業者31のサーバは、この利用者識別情報に基づいて、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35を参照して、利用者の携帯電話機11が登録しているコンテンツ事業者がリストアップされた画面を作成し、この画面を携帯電話機11に送信する。携帯電話機11の表示画面に、「コンテンツ利用者メニュー」がリスト表示される（ST92）。利用者は、リスト表示されたコンテンツ事業者を選択し、さらに、希望するコンテンツを選択する。表示されたコンテンツは、そのコンテンツにリンクが張られているので、自動的にそのコ

ンテンツに接続される（ST93）。このとき、携帯電話機11から、コンテンツ事業者19に、携帯電話機11の利用者識別情報、コンテンツ識別子及びメニュー登録識別子が通知される。メニュー登録識別子は、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35に登録されているかの識別子（なお、この識別子は、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35にアクセスしたか否かの識別子でもある。）である。利用者の携帯電話機11が、「コンテンツ利用者メニュー」から、当該コンテンツにアクセスしたときに、コンテンツ識別子が付加される。

（3）「メニュー画面」の「メニューリスト」を選択し、更に、希望するカテゴリーを選択し、登録されたコンテンツを選択してアクセスした場合は、通信事業者31のサーバを経由しているものの、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35を参照していないので、利用者がそのコンテンツに関して、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35に登録されているか否かが不明である。この場合は、携帯電話機11から、コンテンツ事業者19に、携帯電話機11の利用者識別情報及びコンテンツ識別子が通知され、メニュー登録識別子は通知されない。

（コンテンツの表示）

コンテンツ事業者19は、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の携帯電話機から送信された信号を受信（アクセスを受ける）すると、そのアクセスの信号にメニュー登録識別子が含まれているか否かをチェックする（ST3）。メニュー登録識別子が含まれていれば（ST3：YES）、そのアクセスに利用者の携帯電話機11は、既に、そのコンテンツについて、利用者メニュー情報データベース27に登録されているので、コンテンツを提供する（ST12）。携帯電話機11は、コンテンツを表示し（ST13）、その利用者は、コンテンツを利用することができる（ST14）。

【0054】

なお、以下に述べるように、アクセスの当初は、登録されていない場合であっても、通信事業者31における処理でコンテンツ利用者が利用者メニュー情報データベースに登録されれば、メニュー登録識別子が含まれているとして判断してコンテンツを提供する。

(利用者メニュー情報データベースへの登録)

コンテンツ事業者19は、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の携帯電話機から送信された信号にメニュー登録識別子が含まれているか否かをチェックし(ST3)、メニュー登録識別子が含まれていなければ(ST3: NO)、利用者の携帯電話機11がそのコンテンツについて、利用者メニュー情報データベース27に登録されているか否か不明である。そこで、通信事業者31に、その利用者が利用者メニュー情報データベース27に登録されているかを検査し、もし、登録されていなければ、登録処理を行うよう依頼する(ST4)。依頼の信号には、利用者識別番号及びコンテンツ識別子の情報が含まれている。

【0055】

通信事業者31は、依頼された利用者識別番号に基づいて、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35を参照して、当該利用者が当該コンテンツに登録されているか否かをチェックする(ST5)。

【0056】

もし、当該利用者が当該コンテンツに登録されていれば(ST5: YES)、利用者の画面を、コンテンツ事業者の提供する画面にジャンプし(ST11)、メニュー登録識別子のチェック工程ST3に戻る。このとき、コンテンツ事業者19に、携帯電話機11の利用者識別情報、コンテンツ識別子及びメニュー登録識別子が通知される。以下、工程ST3において、コンテンツ要求信号にメニュー登録識別子が含まれていた場合(ST3: YES)と同様に、利用者に対して、コンテンツが提供される。

【0057】

一方、工程ST5において、当該利用者が当該コンテンツに登録されていなければ(ST5: NO)、コンテンツ事業者19は、利用者に対して、コンテンツ利用者メニューへの登録依頼処理を行う(ST6)。携帯電話機11は、コンテンツ利用者メニュー情報データベースへの登録画面を表示する(ST7)。利用者は、コンテンツ利用者メニューへ情報データベースへの登録画面において、登録作業を行う(ST8)。携帯電話機11は、利用者が書き込んだ登録画面(コ

ンテンツ利用者メニュー情報が含まれている）を、通信事業者31に転送する（S9）。通信事業者31は、受信したコンテンツ利用者メニュー情報をコンテンツ利用者情報データベース35に書き込んで（ST10）、利用者の画面を、コンテンツ事業者19の提供する画面にジャンプし（ST11）、メニュー登録識別子のチェック工程ST3に戻る。このとき、コンテンツ事業者19に、携帯電話機11の利用者識別情報、コンテンツ識別子及びメニュー登録識別子が通知される。以下、工程ST3において、コンテンツ要求信号にメニュー登録識別子が含まれていた場合（ST3：YES）と同様に、利用者に対して、コンテンツが提供される。

【0058】

その後、通信事業者31は、コンテンツ利用者メニュー情報データベース35及びアクセスログ情報データベース37を用いて、利用者の携帯電話機11による通信及びコンテンツの利用に対する料金の請求を合算して行うことができる。

【0059】

従って、本件実施の形態によれば、利用したコンテンツのコンテンツ事業者メニュー情報データベースへの登録の有無に関係なく、利用者は、支払代行サービスを利用することできる。

【0060】

図5を用いて、コンテンツ事業者の主要な構成例を説明する。図5のコンテンツ事業者は、コンテンツ事業者受信部41、メニュー識別子判断部43、依頼部45、コンテンツ提供部47及びコンテンツ49から構成されている。

【0061】

コンテンツ事業者受信部41は、コンテンツ事業者のコンテンツを要求する信号であって、コンテンツ利用者の端末から送信された信号及びメニュー識別子が付加された通信事業者から送信された信号を受信する。メニュー識別子判断部43は、コンテンツ利用者の端末から送信されたコンテンツ要求信号及び通信事業者から送信された信号に、メニュー識別子が含まれているか否かを判断する。依頼部45は、上記メニュー識別子判断手段による判断部が、受信した信号中に、メニュー識別子が含まれていないと判断した場合に、通信事業者に対して、コン

テツンツ利用者が前記コンテンツ利用者メニュー情報データベースに未登録の場合に登録処理を行うように依頼する。コンテンツ提供部47は、上記メニュー識別子判断手段による判断部が、受信した信号中に、メニュー識別子が含まれていると判断した場合に、コンテンツ利用者にコンテンツを提供する。

【0062】

図6を用いて、通信事業者の主要な構成例を説明する。図5のコンテンツ事業者は、通信事業者サーバ受信部51、登録チェック部53、登録処理部55、メニュー登録識別子付加部57、通信事業者送信部59及びコンテンツ利用者メニュー情報データベース35から構成されている。

【0063】

通信事業者サーバ受信部51は、コンテンツ利用者の端末から送信されたコンテンツ要求信号、コンテンツ事業者からのコンテンツ利用者がコンテンツ利用者メニュー情報データベースに未登録の場合の登録依頼信号等を受信する。登録チェック部53は、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに、コンテンツ利用者が登録されているか否かを判断する。登録処理部55は、コンテンツ利用者メニュー情報データベースに未登録の場合に、コンテンツ利用者に対する登録処理を行う。メニュー登録識別子付加部57は、コンテンツ利用者の端末から送信されたコンテンツ要求信号、コンテンツ事業者から受信した利用者識別情報及びコンテンツ識別子にメニュー登録識別子を付加する。通信事業者送信部59は、コンテンツ事業者へ信号を送信する。

【0064】

以上の通り、本件実施の形態によれば、通信事業者のコンテンツ利用者メニュー情報データベースに登録していない場合にのみ、利用者に登録画面を表示して、登録を勧誘するので、登録処理における無駄がない。

【0065】

なお、上記説明では、利用者は携帯電話機を使用した例について説明したが、本件発明はそれに限らず、利用者は、PHS (Personal Handy-phone System)、携帯端末、一般のパーソナルコンピュータを使用してもよい。

【0066】

また、図3には、コンテンツ事業者メニュー情報データベースを記載していないが、通信事業者が、コンテンツ事業者メニュー情報データベースを有していないことを示すものではない。本発明の説明では、必ずしも必要がなかったので、省略したものである。

【発明の効果】

上述の如く本発明によれば、支払代行サービスが利用できるコンテンツの制限を無くし、コンテンツ利用者における無駄な操作を無くすことができる。

【0067】

【図面の簡単な説明】

【図1】

情報提供者に支払を代行する方法を説明するための図である。

【図2】

従来の技術におけるコンテンツの利用を説明するための図である。

【図3】

本発明におけるコンテンツ利用方法を説明するための図である。

【図4】

本発明の実施例を説明するための図である。

【図5】

コンテンツ事業者の構成例を説明するための図である。

【図6】

通信事業者の構成例を説明するための図である。

【符号の説明】

1 1 携帯電話機

1 3 アクセスポイント

1 7 インターネット網

1 9 コンテンツ事業者

2 1、3 1 通信事業者

2 3 ゲートウェイ／利用認証／メニューサーバ

2 5 コンテンツ事業者メニュー情報データベース

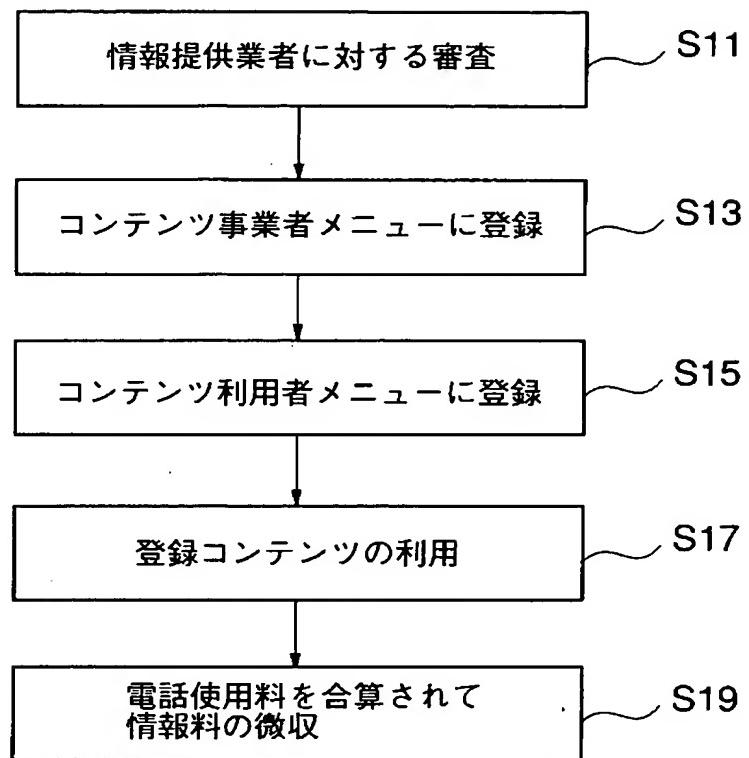
- 3 3 利用認証／メニューサーバ
- 2 7、3 5 コンテンツ利用者メニュー情報データベース
- 2 9、3 7 アクセスログ情報データベース
- 4 1 コンテンツ事業者受信部
- 4 3 メニュー識別子判断部
- 4 5 依頼部
- 4 7 コンテンツ提供部
- 4 9 コンテンツ
- 5 1 通信事業者サーバ受信部
- 5 3 登録チェック部
- 5 5 登録処理部
- 5 7 メニュー登録識別子付加部
- 5 9 通信事業者送信部

【書類名】

図面

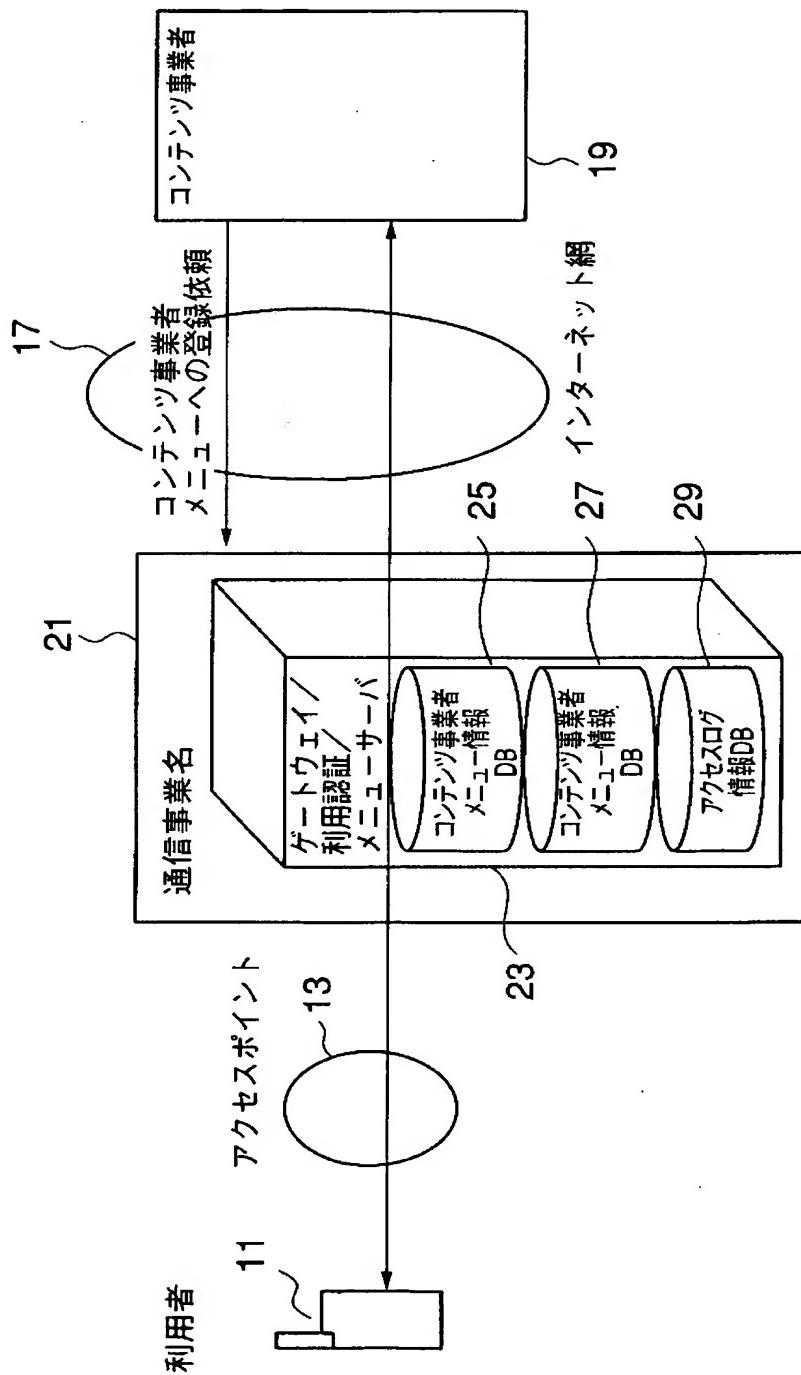
【図 1】

情報提供者に支払を代行する方法を説明するための図



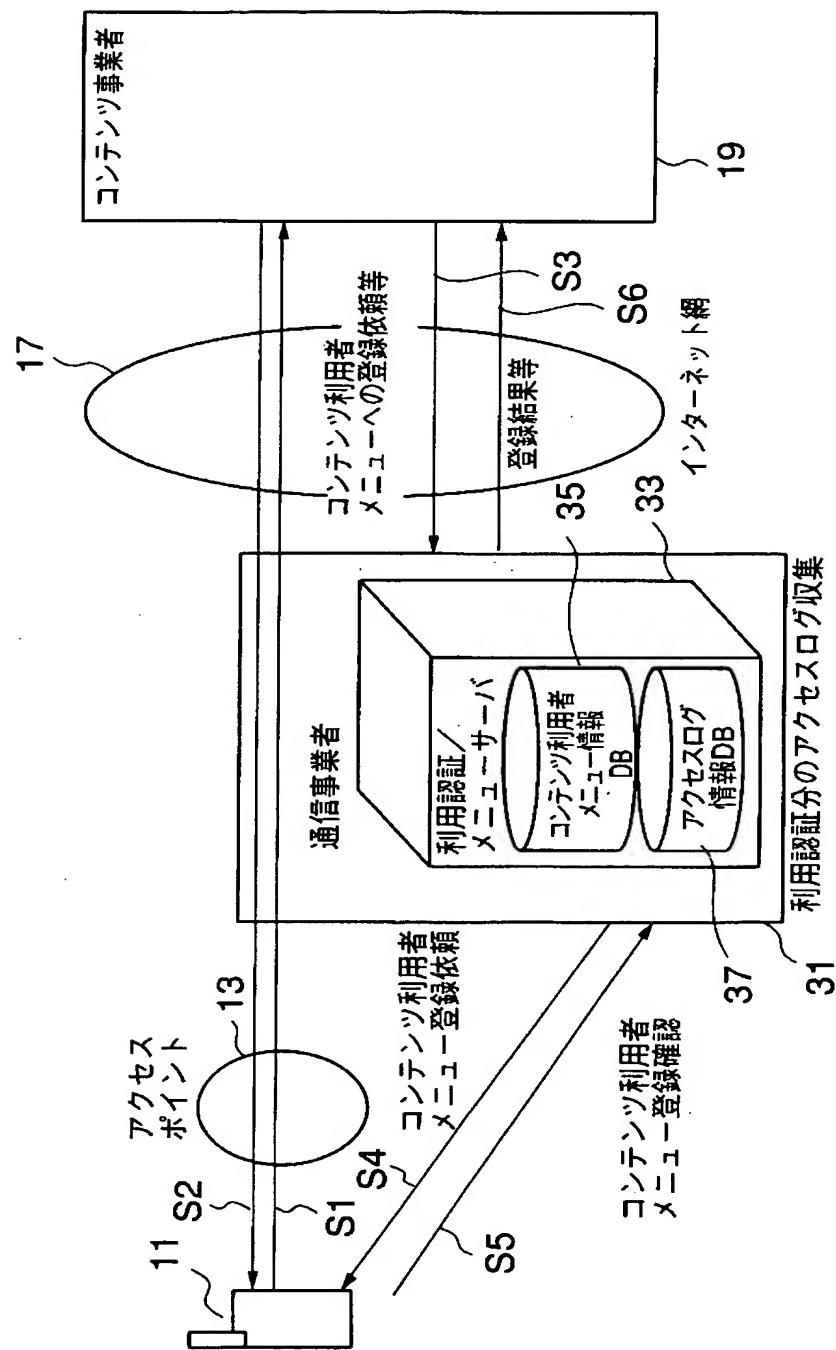
【図 2】

従来の技術におけるコンテンツの利用を説明するための図



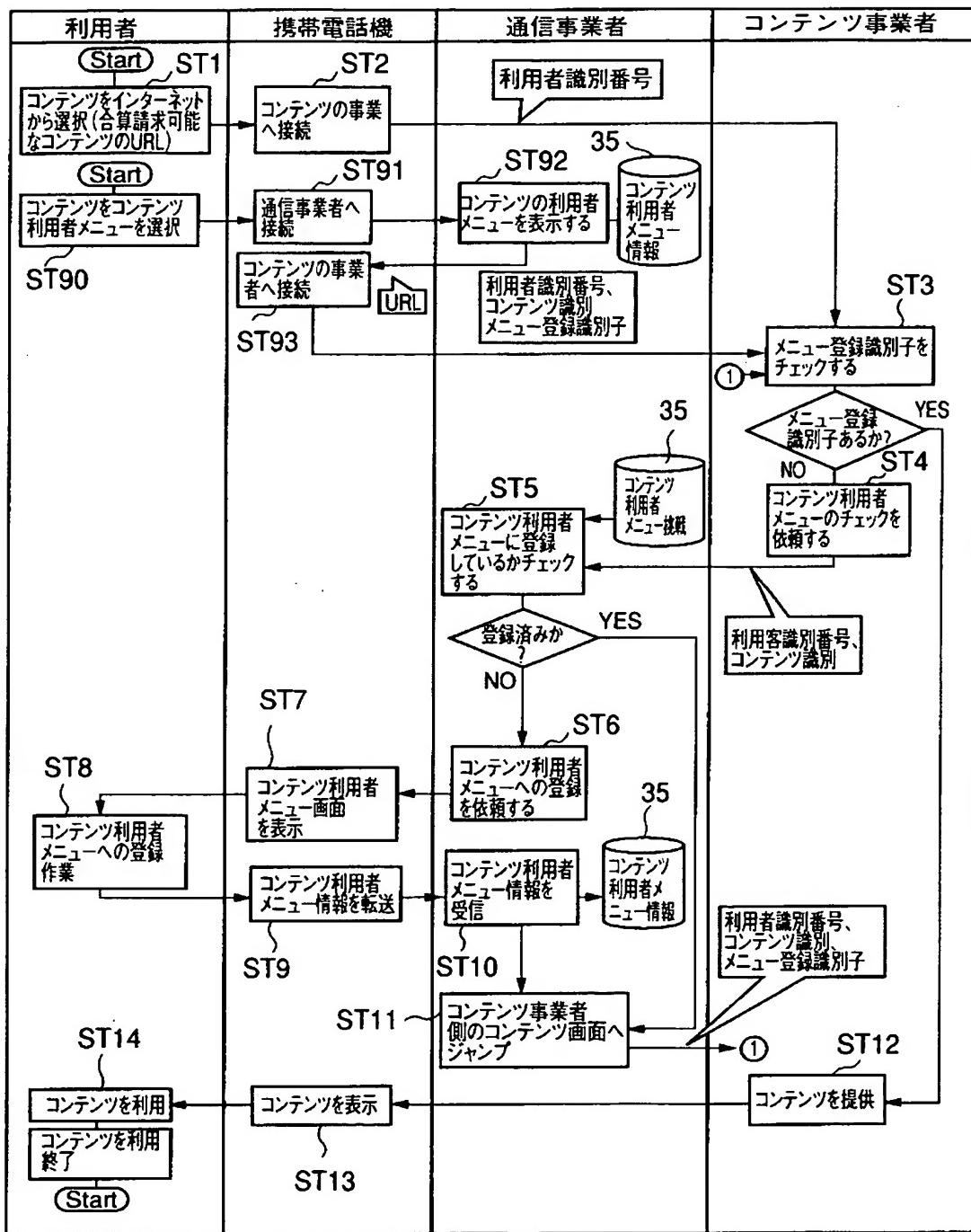
【図 3】

本発明におけるコンテンツ利用方法を説明するための図



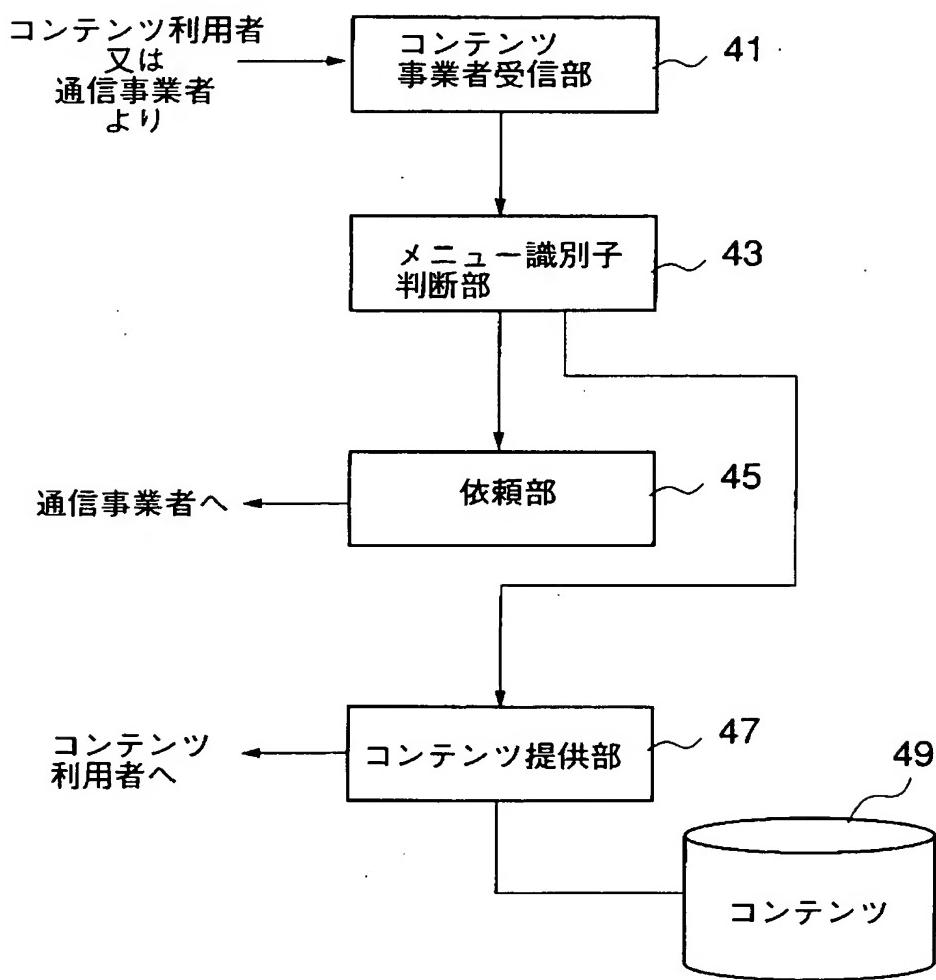
【図 4】

本発明の実施例を説明するための図



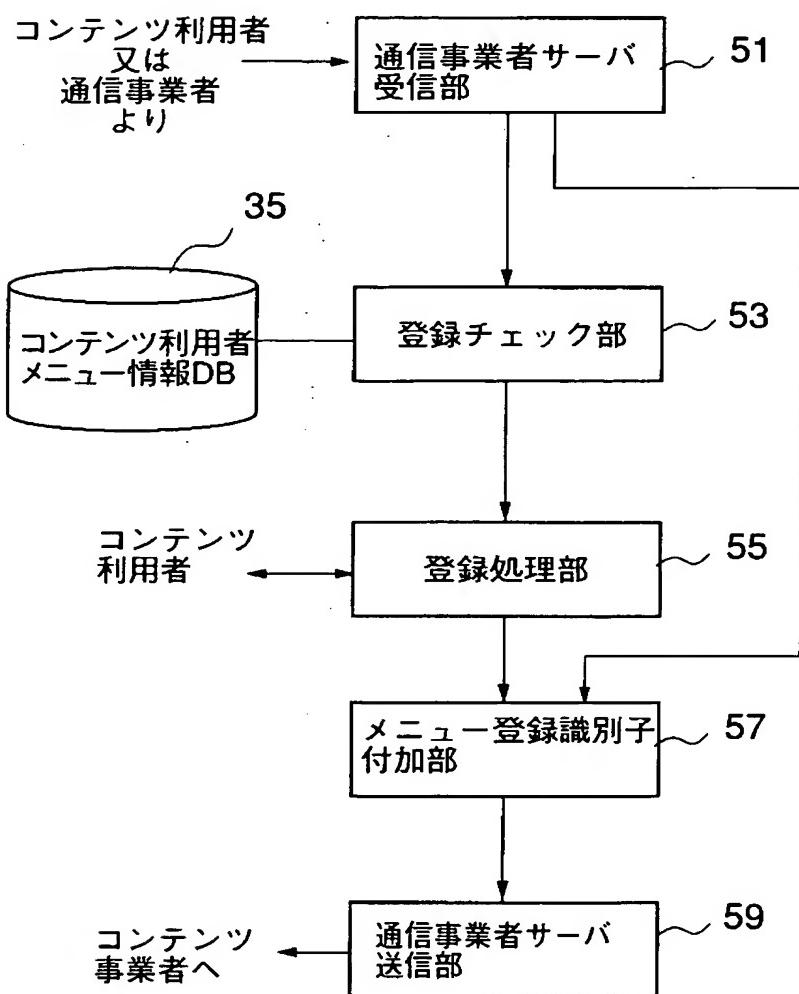
【図 5】

コンテンツ事業者の構成例を説明するための図



【図 6】

通信事業者の構成例を説明するための図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 支払代行サービスが利用できるコンテンツの制限を無くし、コンテンツ利用者における無駄な操作を無くすことを目的とする。

【解決手段】 携帯電話機 11 は、コンテンツ事業者 19 にアクセスする (S1)。利用者の携帯電話機 11 が、利用者メニュー情報データベース 27 に登録されているれば、直ちに、コンテンツを提供する (S2)。携帯電話機 11 が、利用者メニュー情報データベース 27 に登録されているか否かが不明の場合は、通信事業者 31 に、その利用者が利用者メニュー情報データベース 27 に登録されているかを検査し、もし、登録されていなければ、登録処理を行うように依頼する (S3)。通信事業者 31 からの登録された又は登録されている旨の情報を受けて (S6)、携帯電話機 11 にコンテンツを提供する (S2)。

【選択図】 図 3

特願 2001-055736

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
氏 名 富士通株式会社
2. 変更年月日 1996年 3月26日
[変更理由] 住所変更
住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社